

# News Letter

2021年

7月

中国四国農政局  
鳥取県拠点

## 耕作放棄地を果樹の里山へ～鹿野町河内果樹の里山協議会～

鳥取市鹿野町河内地区では、地域の過疎化、高齢化が進行し、耕作放棄地も増加する一方にありましたが、大切な農地を守りたいとの思いから、地域の住民や行政が協力し、「鹿野町河内果樹の里山協議会」を設立。2015年から耕作放棄地に果樹を植え、観光・体験農園として再生するプロジェクトをスタートしました。

里山協議会では、5年間で1,000本の果樹を植え、収穫物を地域で販売するという目標を立て、いちじく、栗、柿など現在では850本を植樹しています。

早い品種は苗木の移植から2年で収穫できるようになり、地域の直売所などで販売されています。



耕作放棄地だった水田が果樹園に

また、加工品の開発も行い、現在はいちじくのジャムが里山協議会デザインのオリジナルパッケージに彩られて商品化され、好評を得ています。今後もジャムの多品目化やドライフルーツなど、新たな商品を検討中とのことです。

2020年10月には、初めて「果樹の里山祭り」を開催。直売市やくだもの狩りのほか、自然を感じながら鹿野町内を歩くフットパスや写真コンテストなどを実施し、2日間で600人が地域の魅力に触れあったとのことです。

近年では、景観作りとして芝桜にハナモモを植栽し、ますます活動の幅が広がっています。里山協議会事務局の小林さんは、今後も多種多様な手段を用い、楽しく活動しながら、果樹の里となった河内地区をみんなで守り続けていきたいとのことでした。



活動の拠点「里山ベース」



好評の「いちじくのジャム」

（「鹿野町河内果樹の里山協議会」ホームページ <https://kajyuno-satoyama.com/>）

## トピックス

### 大学生と子どもたちが夏野菜を収穫

6月27日(日)鳥取空港近くの畑において、鳥取大学の農業サークル「旬むすび」が主催する農業体験イベントが行われ、鳥取市内の子育てコミュニティ「Tottori Mama's(トットリママズ)」の6組の親子が参加し、ジャガイモの収穫作業や料理を楽しみました。

このイベントは、子供達が野菜のオーナーになり、種まきと収穫の作業を体験しつつ、毎日の管理の様子を「旬むすび」のメンバーがSNSで配信し、野菜が成長していく姿も楽しんでもらうというもので、年2回行われています。



芋ほりを楽しむ親子



収穫後、みんなで記念撮影！

(「旬むすび」ホームページ <https://syunmusubi.jimdofree.com/>)

子供達は、自分が植えた芋が大きく成長している姿を見つけ、歓声を上げながら収穫しました。

参加者の一人は、「土や野菜に触れる機会が少ないので、とても楽しい。大学生のお兄さん、お姉さんとの触れあいも子供達にとって良い体験になっている。」と話していました。

「旬むすび」の寺田代表は、「このイベントを通じて、地域の色々な方と関わりを持ちたいと考えており、今後も続けていきたい。」と抱負を語っていました。

## インフォメーション

### 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」(第8回選定) エントリー募集します

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るものです。

このため、他の地域の参考となるような優れた地域活性化の取組を募集します。

応募期間: 令和3年6月16日(水)から令和3年8月31日(火)まで

特設Webサイト <https://www.discovermuranotakara.com/>



編集: 中国四国農政局 鳥取県拠点

〒680-0845 鳥取市富安2丁目89番地4 鳥取第1地方合同庁舎

TEL (0857)22-3131(代) FAX(0857)27-9672 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>